

フランスを代表する至高のアンサンブル

アンサンブル・エプシロン L'Ensemble Epsilon
40 周年メモリアルコンサートツアー in JAPAN 2026

山形市・米沢市コンサート(日本語解説つき)



トランペット: フランク・プルチャーニ 元南西ドイツ放送管弦楽団ソリスト

ホルン: ジャン・ミシェル・ヴィニ パリ管弦楽団副ソリスト

トロンボーン: ブルーノ・フラウ パリ・オペラ座管弦楽団ソリスト

チューバ: ティエリー・ティボー サン＝ブリュイック音楽院ディレクター

9 月 23 日(水・祝)15:00 会場: 山寺芭蕉記念館(山形市山寺)

9 月 24 日(木)18:30 会場: 旧米沢高等工業学校本館(重要文化財 山形大米沢キャンパス)

曲目(両日共通): アヴェ ヴェルム(グノー)/受胎告知のミロンガ(ピアソラ)/イパネマの娘 ほか

主催: 聖バレンタイン・ブラスアンサンブル/日本アマチュアブラスアンサンブル組織(NABEO)

共催: 山形市文化振興事業団(23 日)/放送大学山形同窓会

後援: 国立大学法人山形大学工学部(24 日)/放送大学山形学習センター

入場料: 一般 2,000円 学生(大学生以下) 1,000円 ※当日会場でお支払いください。

お問合せ・ご予約: 山本陽史 携帯090-6132-1198 ※留守番電話にメッセージを残してください。

FAX 045-330-5628 ※お名前・人数・大人学生の別(複数の場合内訳)をお知らせください。



Eメール(推奨): qzj02776@gmail.com

※QRコードからメール作成画面にジャンプできます。必要事項を入力してください。↑

アンサンブル・エプシロン プロフィール

アンサンブル・エプシロンは金管アンサンブルでは珍しい編成のカルテットで、世界で高い評価を受けています。

2026 年、その卓越した豊かで情熱的なキャリアの 40 周年を祝います。1986 年 12 月にパリ国立高等音楽院の卒業生である音楽家たちの絆と友情から誕生しました。1988 年 5 月にベルナル・スストロットが主催したナルボンヌ国際ブラスアンサンブルコンクールでの受賞という形で結実しました。コンクールの名誉会長であるモーリス・アンドレがアンサンブルのパトロンとなり、以降、5 大陸でコンサートとツアーを精力的に展開しました。1993 年には大阪国際室内楽コンクール(日本)で賞を受賞しました。

現在、40 周年を目前に控えたエプシロンは、1000 回を超えるコンサートを開催してきました。レパートリーの多様化を重視する方針の一環として、1992 年に共和国衛兵管弦楽団と録音した CD「フランス音楽のためのブラス五重奏とハーモニー」は、エプシロンが委嘱した未発表の作品で構成されています。

ディスコグラフィには、現在、さまざまな音楽スタイルや編成の CD が 10 枚ほど含まれています。

フランス国内の多くの公的機関や民間団体が、エプシロンの教育活動や普及活動(文化省、外務省、AFAA、地域・県議会、DRAC、ADDM、SPEDIDAM、SACEM、FCM など)を支援しています。

レパートリーは、バロック、クラシック、ロマンティック、現代音楽からジャズや伝統音楽まで幅広く多様です。

エプシロンの活動を中心に展開される多様なプロジェクト、ワークショップ「エプシヴァル(EPSIVAL)」・フェスティバル「CUIVRES EN FETE」、さらに「European Brass Limited」と「European Brass Orchestra」の設立などは、音楽への情熱を共有し、結びつけ、発見し、広めるという意欲から自然に生まれたものです。常に新しい出会いと新しい色彩を探求し続ける姿勢がその基盤となっています。2004 年にピエール・ブーレーズ氏が名誉顧問に就任、2014 年にエプシヴァルにベルリンフィル・ブラスを招聘しました。

日本・山形との縁:

2000 年、初の日本ツアーを行い、その一環として日本アマチュアブラスアンサンブル組織(NABEO、山本陽史が創設)主催のブラスアンサンブルフェスティバル(BEF)in 猪苗代に出演。以降 NABEO との交流が始まりました。07 年千葉県浦安市、12 年岩手県奥州市前沢、19 年山形県酒田市旧松山町で開催された BEF にゲスト出演しました。NABEO 加盟団体もたびたびエプシヴァルに招かれ、フランス各地でコンサートを開くなど、プロアマの垣根を超えて交流してきました。40 周年を機にその輝かしい活動に区切りを付けることになり、メモリアルツアーとして愛着の深い日本でツアーを行います。日本の音楽仲間や多くのファンとの再会を熱望しています。

メンバー:

フランク・プルチーニ(トランペット):1993 年の第 10 回日本管打楽器コンクールで優勝。95 年から 2016 年まで南西ドイツ放送管弦楽団のソリストを務めた。ボルドーの CRR(地域拠点音楽院)と PESMD(高等教育音楽・舞踊センター)の教授。

ジャン・ミシェル・ヴィニ(ホルン):パリ管弦楽団の副ソリスト。ボルドー・アキテーヌの PESMD の教授(2013 年から 24 年)。

ブルーノ・フラウ(トロンボーン):パリ・オペラ座管弦楽団のソリスト。パリ 12 区音楽院およびボルドー・アキテーヌ PESMD の教授(2013 年から 24 年)。

ティエリー・ティボー(チューバ):サン＝ブリュイック CRD(県立音楽院)ディレクター - 作曲家・編曲家 - SACEM(フランス音楽著作権協会)会員、ボルドー・アキテーヌ PESMD 講師(2013 年から 24 年)。